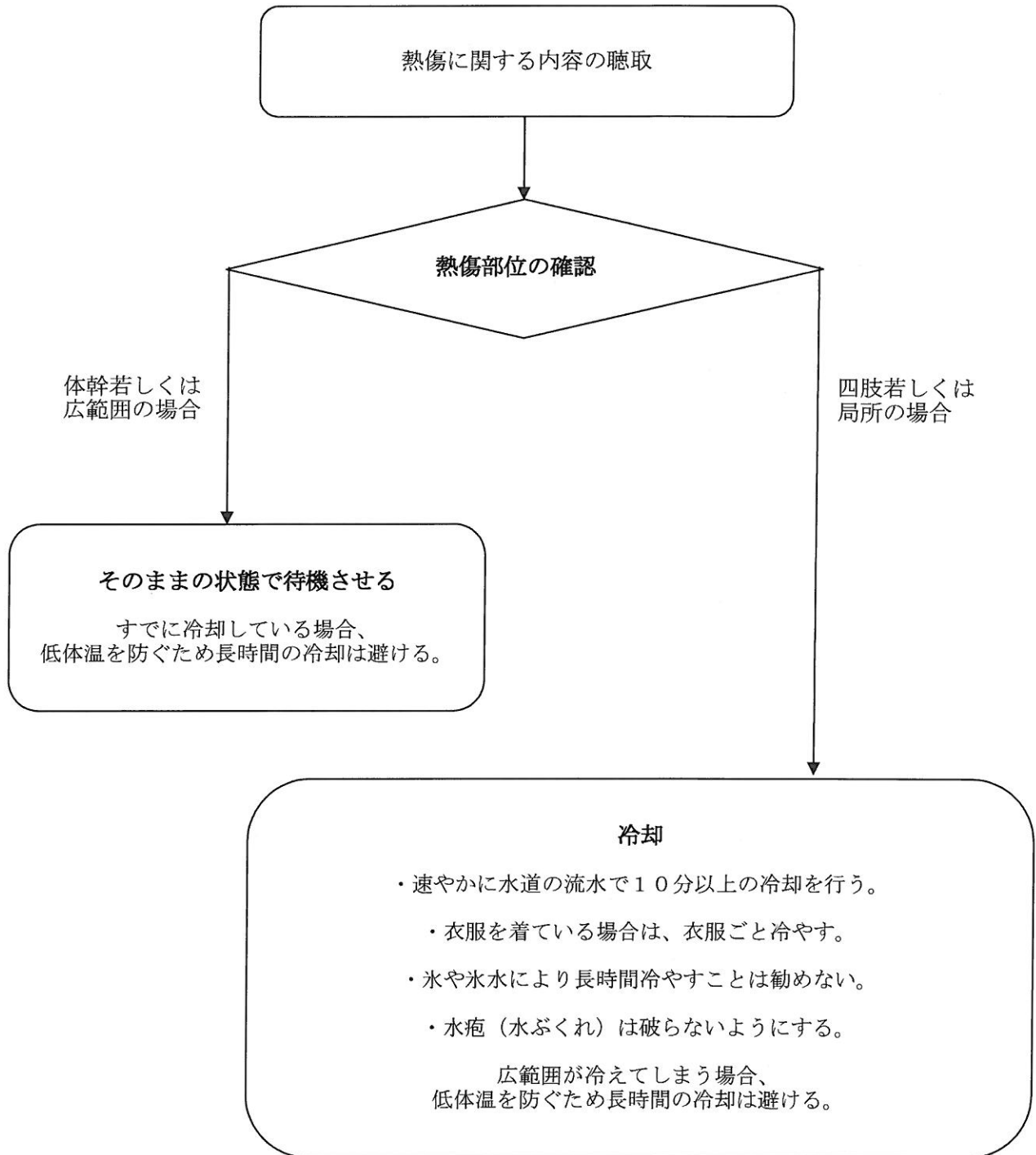


熱傷手当



熱傷に関する内容の聴取

熱傷部位の確認

体幹若しくは
広範囲の場合

そのままの状態
で待機させる

すでに冷却している場合、
低体温を防ぐため長時間の冷却は避ける。

四肢若しくは
局所の場合

冷却

- ・速やかに水道の流水で10分以上の冷却を行う。
- ・衣服を着ている場合は、衣服ごと冷やす。
- ・氷や氷水により長時間冷やすことは勧めない。
- ・水疱（水ぶくれ）は破らないようにする。

広範囲が冷えてしまう場合、
低体温を防ぐため長時間の冷却は避ける。